



各会場には多くの参加者が集い、老いも若きも和気あいあいと「報恩感謝の汗」を流した

にぎやかに「報恩感謝の汗」 4月29日「全教一斉ひのきしんデー」

恒例の「全教一斉ひのきしんデー」が4月29日、国内外の各地で実施された。ひのきしんとは、親神様のご守護によって生かされていることに感謝し、喜びの心でご恩に報いようとする信仰実践のこと。昭和7(1932)年から年に一度、各地の名所旧跡、公園、海岸、河川敷、公共施設などを会場に、清掃や除草などの活動が行われている。

国内では、一部地域で雨が降ったものの、関東から西側は晴れて穏やかな陽気となった当日。全国に設けられた約1180カ所の会場に老若男女が集い、除草やごみ拾いをはじめとするひのきしん活動が一斉に展開された。参加者たちは、家族や友人と共に、にぎやかに「報恩感謝の汗」を流した。

